

家具って、 族でした。

今年は内覧会から
始まります。

1/10 sat・11 sun・12 mon

PRODUCED by zuiun



なるほど! ザzuiun 新春の祭典。お年玉SP!

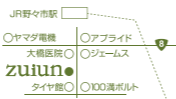
25(sun) まで開催中
期間中、家具をご購入された全ての方に、
スペシャルプレゼントをご用意しております。(小物家具は対象外)

プレゼント内容はご来店されたからのお楽しみ。ご購入金額によってプレゼントの内容は異なります。



家を最高の贅沢空間に... オーダー家具、
オーダーキッチン作ってみませんか?

zuiun(ズイウン)
石川郡野々市町野代1-8
TEL 076-213-5505
月-金 11:00~20:00
土日祝 10:00~20:00
木曜定休(祝日は営業)



年始の各広告媒体におきましては、上記のご案内期間(1月10日~12日)の開催予定となっておりますが、
期間中、相当の混雑が想定される為、ご招待をさせていただき皆様におきましては、期間をずらし、翌週の、
1月17日(土)、18日(日)の両日にお越しいただき、失礼の無い、対応をさせていただきたく思います。

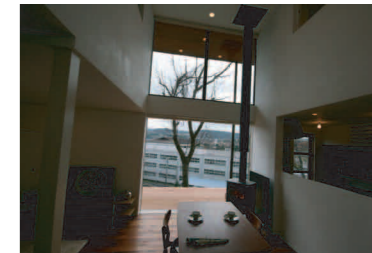
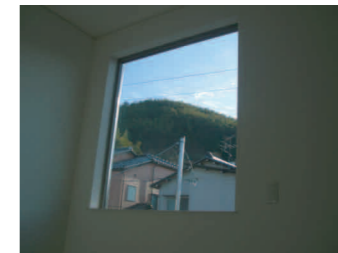
何卒、ご理解を賜り、ご家族お誘い合わせのうえ、ご来場いただく事を、心よりお待ちしております。

ZUIUN代表取締役

正理 善寛



窓から山の稜線を望む M邸



敷地の秩序に従い、解放した大開口 K邸

皆さんは、一日に一度でも自分の家の窓から、外の景色を
見えていますか?

間取りを考えるプロセスの中で、窓の配置を考える事は、
とても大切な事で、決して気を抜く事のできない重要なポイ
ントです。窓を制する者は、間取りを制するんです。
・・・たぶん。

と言う事で、今回は窓について真剣に考えてみます。

窓の大きな役割は、建物の開口・つまり、建物の内と外
を繋ぐ穴と言う事になりますが、その穴をどこに開けるか
によって、建物の内部の住環境に強い影響があるので、無造作
に開ければ良いという訳ではありません。

具体的には、開ける場所が悪いと光が入らない窓になっ
てしまったり、風が通らない窓になってしまったり、ブライバ
シーが守れず永遠にカーテンが開けられないような、不快感
たっぷりな窓をつくってしまう事になります。

特に、日本の住宅事情を思えば、隣が公園や田畑になっ
ていない限り敷地に余裕が無い事から、隣や、後ろの敷地に
建つ家が障害になって、日差しやブライバシーの確保が難し
い上に、そんな事おかまい無しに、自分達の理想の家を求め
て、洋風や和風、更にはモダンにデザインされたなんとか風
なんて家を、競うように建ててしまうから、窓の問題は一向
に解決してきませんでした。

「一体、どうすれば・・・。」

そんな事が分かってしまえば、とっくにやってるはずだ
し、残念ながらこれまでの建築史を見ても、全く正しい答え
なんて見つかるはずがないんです。

だからと言って初めからあきらめるのもどうかと思うので、
現時点での最良の答えを求めて、色々な本を読みあさってみ
ると、窓に対しての考え方が、近年、徐々に変わってきてい
るのが分かってくから、面白い・・・そして興味深い。

窓について考える

ZUIUN便り Vol.6

これまでの建築では、窓の役割の中で、外観を構成する為の
意匠性が多くのウエイトを占めていたように思います。

これは、見栄え重視の住宅展示場を観察すると、建物の正面
が、南向きであろうが北向きであろうが、関係なく大きな窓が
整然と、規則正しく配置されているのを見れば分かりやすいと
思います。

そして、そんなモデルハウスに憧れて、ちよつとでもモデル
ハウスに近づこうと躍起になっているうちは、間取りづくりに
失敗する確立が高くなっている事を知らない方が意外と多いん
です。

特に、モデルハウスを、ただ縮小しただけのプランは最悪で
す。(僕の経験上、成功した例がありません。)

何故なら、建てる場所である敷地の秩序に反して、モデルハ
ウスのイメージのみで事を進める訳ですから、建てた後に、光
の入らない、前面道路から、家の中が丸見えの住宅を造ってし
まう訳です。

ここで再度、窓(開口)はどこに開けるかによって建物内部
の住環境に大きな影響力がある事を考えて欲しいのです。

近頃の建築雑誌を見ると、窓の配置に配慮した建物が増
えてきた様な気がします。特に増えているのは、正方形の大小
の窓を、ランダムに配置する外観の家です。これは、今までの
建築の概念に無い傾向です。

日本の厳しい住宅事情を、窓の配置から解決を図ろうと模索
した結果、室内から見た窓の配置、つまり、室内の住環境を優
先的に考えて、敷地の秩序に従って窓を配置する事が近年では
主流となりつつあると思います。

例えば、建物の正面に窓が無い建物は、最近の住宅雑誌に当
たり前のように掲載されています。しかも、内部は決して閉鎖
的ではなく、寧ろ開放的です。

窓は、カーテンを開けて、開放してこそ、本来の機能を果た
します。
その時、皆さんは、窓から何が見えていて欲しいですか?

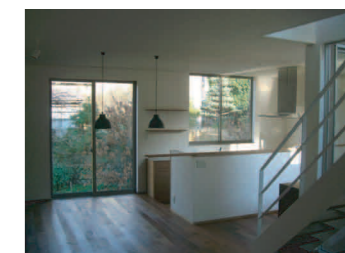


建築家、妹島和世による住宅
「梅林の家」
2003年12月竣工
2005年日本建築大賞受賞

限られた条件の中で、部屋と窓(開口)
の配置を極限まで洗練した、都市部
に建つ、狭小住宅。
その後の、日本の住宅建築に大きな
影響を及ぼした。



2007年に竣工したK邸のファサード(正面外観)



ブライバシーを考慮しつつ開放した窓 M邸